長崎県北松浦半島及び平戸島の河口域における紅藻類の分布について

川内野善治

はじめに

長崎県北松浦半島及び平戸島における絶滅危惧種の紅藻類アサクサノリ*Porphyra tenera* Kjellmanの分布調査を2005年2月25日～26日の2日間行った．本調査はレッドデータブックの調査の一環として、千葉県立中央博物館の分館海の博物館の菊地則雄さん,北海道大学名誉教授吉田忠生さんらにより行なわれ、著者以外に川久保晶博･大谷拓哉･橋口克伸･久野千香子･米文博･山口陽介らも同行した．
この際に準絶滅危惧の紅藻類アヤギヌ･ホソアヤギヌ･タニコケモドキも同時に発見できたのでこれらを含めて報告する．なお,その後著者が実施した調査結果についても同時に報告する．
産地については地名(位置図),環境省メッシュコード,緯度/経度,生育床の順に記す．
＊緯度経度の表示は北緯33度13分8秒,北緯129度38分24秒をN33.13.8/E129.38.24の様に表示した．

(Ⅰ)アサクサノリ(ウシケノリ科)*Porphyra tene--ra* Kjellman

葉体は膜状で倒披針形から楕円形で,基部は楔形から円形になり,縁辺は全縁でひだがある．体は1層細胞からなり,厚さは28―35μmである．雌雄同株体と雄性体があり,同株体では精子嚢が細長いすじ状に集まる．

（図２)アサクサノリ

内湾の汽水域の潮間帯に生育する．1970年ころまでは養殖海苔の大部分を占め,北海道から九州までの内湾でふつうに見られたが．生育適地が埋め立てられたり,養殖に用いられることが少なくなって,自生地が激減した．近年,熊本県や宮城県などの数カ所で生育が確認されたに過ぎない．
環境省絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)に選定されている(吉田　2000)．

アサクサノリの産地と生育状況．

(1) 佐世保市日野町･相浦川下流(図1-1･３),4929-65-03,N33.10.26/E129.39.60,2005年2月25日,テグス(図４)･流木の枝･マガキ(図５)･岩(図６)．

(図３)相浦川下流

(図４)テグスに付着

(2) 北松浦郡佐々町小浦免･佐々川(図1-3),4929-65-51,N33.13.8/E129.38.24,2005年2月25日,針金(図７)･コンクリート上･網･細い流木の枝．
2006年2月11日の調査では小浦の海岸に沿って500m程の範囲で見ることができ、今回報告した中では、生育量としては最大であろう。

（図５）マガキに付着

（図６）岩に付着

（図７）針金に付着

(3) 北松浦郡小佐々浦臼ノ浦免・小佐々浦（図1-5・図８）,4929-64-69,N33.13.23/E129.36.49,2005年2月25日,細い流木の枝（図９）・もやいロープ（図10）.

(4)北松浦郡鹿町町鹿町免・鹿町川（図1-7）,4929-74-59,N33.18.6/E129.36.45,2005年2月25日,流れてヨシに絡まっている.

(5)北松浦郡江迎町東江迎・江迎川（図1-8）,4929-75-60,N33.18.23/129.37.43,2005年2月25日,コンクリート護（図11）, 岸・礫.

(6)北松浦郡鹿町水尻・江迎湾（図１-９）,4929-74-68,N33.18.38/E129.36.41,2005年2月25日,網.

(7)北松浦郡江迎町末橘免（図1-10・12）,4929-74-79,N33.199.1/E129.36.46,2006年1月29日,流木の枝.

（図８）小佐々浦

（図９）流木の小枝に付着

（図10）もやいロープに付着

(図11) コンクリート護岸に付着

(図12) 江迎町末橘免

(7)平戸市紐差町・安満川(図1-10・13),4929-73-48,N33.17.17/E129.28.50,2005年2月26日,礫(図14).

(図13)安満川

(図14)礫に付着

(Ⅱ)アヤギヌ*Caloglossa continua* (Okamura) King et Puttock(紅藻類)

体は細いリボン状で叉状に分岐する．体の幅は 1-2 mm である．

内湾の干潟にあるアシの基部や，潮間帯の岩の上などに生育する．岩手県から沖縄県までの汽水域に分布する．準絶滅危惧(NT)

アヤギヌの産地と生育状況．

(1)佐世保市相浦町・相浦川,(図1-2),4929-65-71,N33.11.27/E129.39.56,2005年2月25日,ヨシの茎・地表面.

(2)北松浦郡佐々町古川免・佐々川(図1-11),4929-65-81,N33.14.18/E129.38.48,2005年2月25日,ヨシの茎.

(3)北松浦郡小佐々町田原免・小佐々川(図1-6),2006年１月9日,4929-64-79,N33.13.47/E129.37.2,ヨシやハマサジの生える地表面.

(4)北松浦郡鹿町町鹿町免・鹿町川(図1-7),2005年2月25日,4929-74-59,N33.18.6/E129.36.45,2005年2月25日,ヨシの茎.

(5)松浦市御厨町高野免・竜尾川(図1-11),5029-05-32,N33.22.2/E129.39.32,2005年2月26日,ヨシの茎(図15).

(図15)ヨシの茎に生育

＜付記＞

諫早市今村町,今村川,,N32.51.22/E130.0.48,ヨシの茎

(Ⅲ)ホソアヤギヌ*Caloglossa ogasawaraensis* Okamura(紅藻類)

体は長さ約 2 cm で2叉，まれに3叉状に分岐し，細い葉状の節間部とくびれた関節状部からなり，節間部は幅 0.2-0.6 mm である．

岩手県から沖縄県まで，淡水域から汽水域に生育する．

環境庁編レッドデータブックではササバアヤギヌと誤記されている(ホームページ藻類講座)．準絶滅危惧(NT)．

ホソアヤギヌの産地と生育状況．

(1) 北松浦群鹿町町鹿町免・鹿町川(図1-7),4929-74-59,N33.18.6/E129.36.45,2005年2月25日,ヨシの根本(図16)

(図16)ヨシの根本に生育

(2)平戸市下中津良町・中津良川(図1-14),4929-63-85,N33.14.15/E129.26.8,2005年2月26日,コンクリート護岸(図17)

(図17)コンクリート護岸(黒っぽい部分)に生育

(Ⅳ)タニコケモドキ*Bostrichioa simpliciuscula* Harvey ex J. Agardh(紅藻類)

体は細い糸状でよく分枝してマット状に広がる．

河口近くの汽水域の岸辺の土の上や他の植物の体上に生育する．日本では宮城県から沖縄県まで太平洋岸に分布する．準絶滅危惧(NT)

(図17)ヨシの茎や地表に生育

(1)松浦市志佐町・志佐川(図1-12),5029-05-06,N33.20.25/E129.42.14,2005年2月26日,ヨシ群落の地表や根本(図17)．

(2)佐世保市相浦町・相浦川(図1-2),4929-65-23,N33.11.27/E129.39.56,2005年12月10日,メダケ群落の株基にマット状に地面を覆っている．

本種はアヤギヌより塩分濃度の低い場所を好むようで,若干高い場所に生育している(図18)．

(図18)地表面に生育

終りに

アサクサノリは北松浦半島と平戸島を挟んだ穏やかな海域に注ぐ河川の感潮域でのみ生育することがわかった。2006年の冬には2005年の調査でアサクサノリの生育が確認された場所での生育を再確認をするとともに、生育が予想される場所の調査を実施した。その結果新たな生育地が発見できた。また、佐々川河口域での生育量は県北地域では最大の生育地であることもわかった。

謝　　辞

本報告にあたり、千葉県立中央博物館の分館海の博物館の菊地則雄さんには助言や本報告書の校正をしていただきました。厚くお礼申し上げます。

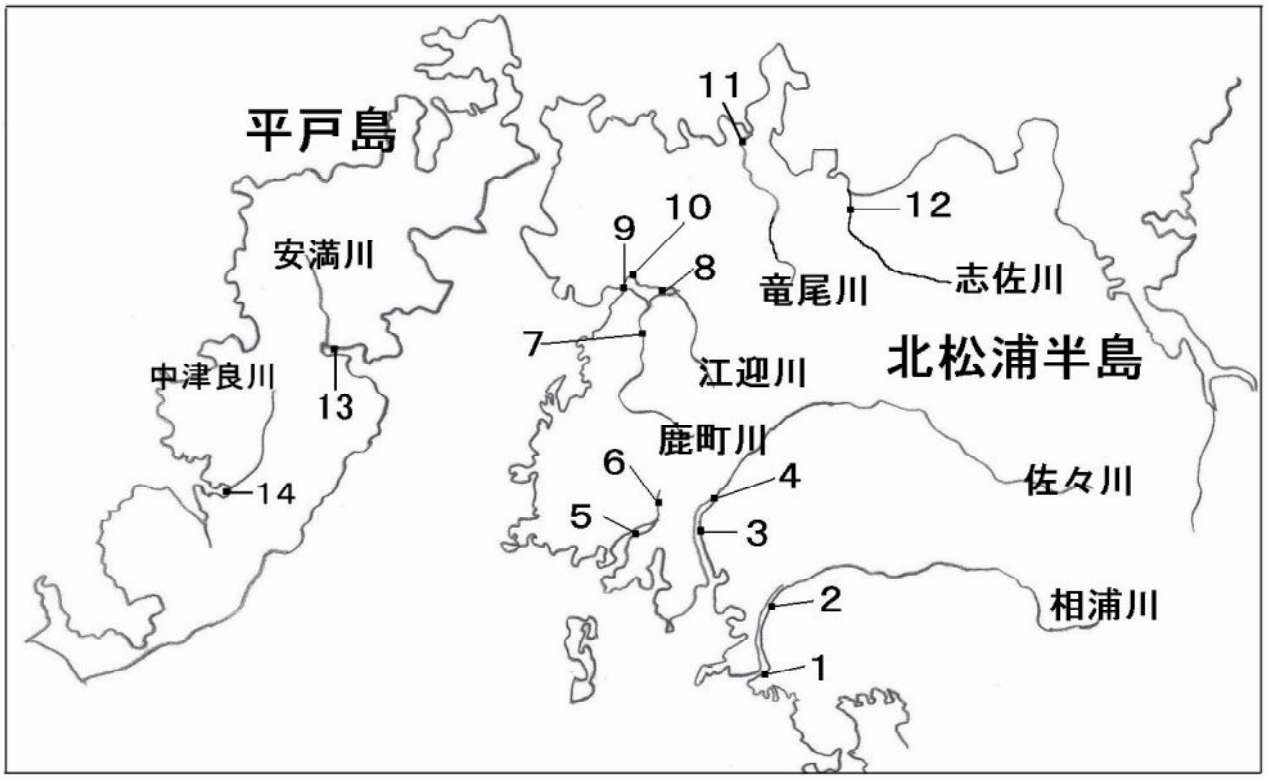
文　　献

吉田忠生　他 2000．アサクサノリ．環境庁編，改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物植物Ⅱ（維管束植物以外）．p218.（財）自然環境研究センター,207-255

資　　料

吉田忠生・鯵坂哲朗．ホームページ藻類講座（http://www.net-report.jp/sorui/）．レッドデータブック．

＜位　置　図＞



（ 図 1）